

廃棄・再利用前の端末を 証明書付きで安全にデータ消去

ターミネータ10plus

データ消去ソフト 導入ガイド

AI DATA

目次

- 第1章 なぜ、今データ消去を見直すべきか
- 第2章 ターミネータでできること
- 第3章 法人運用でどう活用できるか
- 第4章 導入条件・料金
- 第5章 導入前の確認事項

第1章

なぜ、今データ消去を見直すべきか

廃棄・返却・再利用前のデータ消去で、こんな課題はありませんか？

5つの課題や悩み

初期化やフォーマットだけでは不安

見た目は消えていても、データが復元される可能性があります。

廃棄前の端末に情報が残っている

顧客情報、個人情報、社内資料、業務データの漏えいリスクがあります。

古いPCや起動しない端末がある

通常の方法では消去作業を進めにくい機器が混在しがちです。

初期化やフォーマットだけでは不安

見た目は消えていても、データが復元される可能性があります。

複数拠点・大量台数を効率よく処理したい

各拠点で同じ品質・同じ手順で運用できる仕組みが必要です。

フォーマットや初期化だけでは、データは消えません

フォーマットや初期化をしても、データそのものが完全に消えるとは限りません。
そのまま廃棄すると、復元ソフトで読み出される可能性があります。

フォーマット・初期化後

「目次だけを消した」状態

消えたもの - ファイルシステムの索引（目次）

残るもの - データ自体はドライブ内に残存

復元リスク - 復元ソフトで80~95%が読み取り可能

ターミネータ10plusによる完全消去後

「本文ごと消した」状態

- ・全セクターへの上書き消去（規格準拠）
- ・データ自体が復元不可能な状態に
- ・消去完了レポートを自動発行

法人に、確実なデータ消去が求められる理由

廃棄・返却・再利用前の端末では、復元困難な消去と、説明できる記録管理の両立が重要です。

法人や組織にとって、データ消去は単なる作業ではありません。個人情報や機密情報を扱う以上、復元困難な消去と証跡管理が重要です。

端末の廃棄・返却・再利用時には、「削除した」だけでなく、安全に処理したことを説明できる状態が求められます。

特に、個人情報や機密情報を扱う組織では、消去品質だけでなく、運用の再現性、確認のしやすさ、報告のしやすさも重要です。

法人に必要なのは、その場しのぎの消去ではなく、ルール化できるデータ消去体制です。

個人情報・機密情報の管理

廃棄・返却・再利用時に情報が残らないよう、適切な処理手順が必要です。

復元困難な消去

フォーマットや初期化だけでなく、復元ソフトに対応できる水準の消去が必要です。

説明責任と証跡管理

「消去した事実」を証明できる記録が、監査・社内報告・取引先対応で求められます。

第2章

ターミネータでできること

OSを含めたデータ消去を、現場で実行しやすく

ターミネータ10plusは、廃棄・返却・再利用前のPCや記憶媒体をOSを含めて安全に抹消できるデータ消去ソフトです。

OSを含めてすべて抹消

フォーマットだけでは消せない領域も含めて、データ消去を行えます。

BIOS / UEFI を自動判別

起動時にBIOSかUEFIかを自動判別し、消去プログラムを実行できます。

起動USBで利用可能

CD-ROMドライブがない場合でも、起動用USBメモリを作成して利用できます。

さまざまな抹消方式を選択可能

用途に応じて選べる抹消方式を備え、SSD専用方式にも対応しています。

消去ただけで終わらない。証跡をレポートとして保存

データを消去することに加えて

いつ・何を・どのように消去したかを確認できることが重要です。

抹消レポートに記載される内容

データ抹消日時	ディスク容量	エラーの有無
メーカー型名	シリアル番号	抹消時間
製造番号 (S/N)	抹消方式	不良セクタ数



社内報告、監査対応、運用記録の保存など、説明責任を支える情報を残せることが大きな特長です。

USB保存に
対応

抹消完了後、レポートファイルをUSBメモリへ保存できます。印刷・共有にも対応。

社内報告・監査
に活用

レポートには日時・機器情報・消去方式を記録。報告書の根拠資料として使用できます。

運用記録の蓄積

端末ごとの消去記録を継続的に保存することで、説明責任に備えた体制を整えます。

第3章

法人運用でどう活用できるか

廃棄前から拠点展開まで、さまざまな場面で活用できます

データ消去のあらゆるニーズを網羅しています。

01. PCの廃棄前処理

- 廃棄前のPCに残る情報を、安全にデータ消去してから処分したい場合に。

02. リース返却前の対応

- 返却前に、社内データや個人情報を適切に処理したい場合に。

03. サーバー更新・入替時の抹消

- 旧機器のストレージを、再利用・廃棄前に整理したい場合に。

04. 拠点ごとの機器更新

- 全国の拠点に散らばるPCについて、統一した方法で消去したい場合に。

05. 入札・ガイドライン対応

- 「3回上書きによる消去」などの条件に応えたい販売店・導入担当者にも。

06. 監査・社内報告への備え

- 消去の記録と証跡を残し、後から説明できる状態を整えたい場合に。

法人のデータ消去運用で選ばれる5つの理由

導入判断で重要なのは、性能だけでなく、現場で運用しやすいかどうかです。

起動しない端末にも対応しやすい

起動USBを使うことで、通常起動できない端末にも対応しやすくなります。

証跡を残しやすい

抹消完了レポートを保存できるため、報告・確認・記録に役立ちます。

古いPCにも配慮

DOS版 2MB以上、独自OS版 256MB以上、Windows PE版 512MB以上のRAM要件で低スペック環境にも対応。

複数拠点へ展開しやすい

本社だけでなく、各拠点で同じ手順・同じ品質で運用しやすい設計です。

導入規模に応じて選びやすい

段階価格や年間ライセンスがあり、利用規模に応じた選択ができます。

第4章

導入条件・料金

利用規模に合わせて選べる法人向けライセンス・料金

台数段階価格（ライセンス単価）

年間ライセンス（無制限台数）

ライセンス数	単価（税抜）
3～29台	1,800円 / 台
30～99台	1,700円 / 台
100～299台	1,500円 / 台
300～499台	1,350円 / 台
500～999台	1,200円 / 台
1,000～4,999台	1,050円 / 台
5,000台～	900円 / 台

ライセンス名	単価（税抜）
無制限年間ライセンス	798,000円（税抜）
無制限年間更新ライセンス	398,000円（税抜）

※最低3ライセンスからの注文となります。

※プログラム（USB、CD）は専用ダウンロードサイトより作成可能です。

第5章

導入前の確認事項

導入前によくあるご質問

サーバー（RAID構成）のデータ抹消はできますか？

ハードウェアRAIDの場合は、RAID構成を解除した上で抹消作業を行います。ソフトウェアRAIDの場合は、複数ドライブとして認識されるため抹消可能です。

抹消時間はどれくらいかかりますか？

平均すると、1GBあたり約30～40秒です。100GBのHDDを抹消レベル1で消去する場合、約50～70分が想定されています。

購入ルールはありますか？

新規購入時はメディア・マニュアルを1枚以上購入します。追加購入は累積ではなく、購入ごとのライセンス数に応じた単価が適用されます。

光学ドライブがない場合はどう抹消しますか？

空のUSBメモリを用意し、ターミネータ起動用USBメモリを作成して利用できます。ライセンス証書記載のWebサイトからツールをダウンロードして作成します。

自社に合った導入方法・見積をご案内します

利用台数、拠点数、対象機器、運用方法に応じて、自社に合ったライセンス構成をご案内します。

ご相談内容

自社環境での使い方

起動USB運用

段階価格の選び方

年間ライセンスの考え方

少数台の導入から、複数拠点・大量運用まで、運用規模に応じた導入方法をご相談いただけます。
まずは、お気軽にお問い合わせ・お見積をご相談ください。

AIデータ株式会社 クラウドデータカンパニー

TEL : 03-6683-0890 MAIL : houjin@aidata.co.jp

会社紹介

会社名 AIデータ株式会社（エーアイデータカブシキガイシャ）

設立 2015年4月1日

資本金 1億円（資本準備金15億2500万円）

代表取締役社長 佐々木 隆仁

本社所在地 〒105-0001
東京都港区虎ノ門5-1-5 メトロシティ神谷町4F

